




| | | | |
|---------|---|---|---|
| 活動プログラム | No.37 ARネイチャーラリー | | |
| 期待される効果 |  |  |  |
| プログラム概要 | <p>美方高原周辺のコースで、タブレットを使って、地図を活用しながら制限時間内にポイントを見つけて、4感（聴覚、視覚、触覚、嗅覚）を広げていきます。距離は1周約4kmですが、10個のポイント全てを使わないショートコース（5個）も可能です。全ポイントを巡るコースであれば、3時間、ショートコースであれば2時間ぐらいが所要時間となります。</p> <p>活動を通して施設周辺の自然への感性が増し、美方高原で経験する自然体験活動をより豊かにし、より自然への親しみや理解を深めるきっかけにもなります。また、グループ活動となるので、グループ内の話し合いや協力する姿勢などが高まります。</p> | | |
| 対象 | 小学生以上 | 人数 | 特になし |
| 時期 | 4月中旬～12月上旬 (積雪期は要相談) | 場所 | 美方高原周辺 |
| 金額 | 無料 | 大人の人数 | 最低5人 (本部1・各ポイント3・巡回1) |

| | | |
|-------------------|------------|-------------------------|
| 準備物 | 団体ごと | 救急バッグ |
| | 服装 個人装備 | 帽子、水筒、カップ（上下セパレート）、筆記用具 |
| 美方高原で レンタル可能な物 | | タブレット、地図、クマ鈴（グループに1つ） |

活動のタイムスケジュール（例）

| 時間 | 運営 | 安全上のポイント |
|-------|---|---|
| 9:00 | 各ポイントに立つスタッフは、事前にその場所に行ってもらい、子どもたちの到着を待ちます。 出発地にて確認事項 プログラム説明、コース確認 準備運動 | A、C、Gポイントに関しては地形の関係で無線が入りにくいことがある。 持ち物や服装の確認、体調の確認 その日の天気予報確認。 (雷の場合、時間変更もしくは中止) 活動中は走らないように注意喚起。 |
| 随時 | 休憩、水分補給 | 特に夏季は脱水症状にならないよう、こまめな水分・塩分補給と休憩をとる。 |
| 11:30 | 施設到着 ふりかえり | 人数確認、体調確認 |
| 11:50 | 終了 | |

補足ポイント

- 事前にコースを下見しておきます。
- 各ポイント（最低A・C・G）に事前にスタッフを配置し、グループからの離脱児童、迷子が起きないように留意します。
またその場合は、必ずグループ単位で行動させてください。（遭難、または熊との遭遇を避けるため）
- 各ポイントには課題が設置してありますが、各団体で目的にあった課題に変更して設置することも可能です。その際には事前に設置して回る必要があります。
- 緊急時は施設の車で全ポイントまで向かうことが可能です。

| | | |
|-------------|-------|------------|
| 活動 プログラム | No.37 | ARネイチャーラリー |
|-------------|-------|------------|

| 予期されるリスク | リスクに対する対応 |
|-------------|--|
| 道迷いや遭難 | 地図の配布や分岐点などにスタッフを配置する。無線機や個人の携帯電話なども使うと、指導者間の連携がしやすい。 |
| コースの確認 | コース上に通行に危険な箇所はないか、倒木や落石の恐れがある場所があれば、事前に処理もしくはルートの変更をする。 |
| 熱中症、脱水症状 | 塩分や十分な水分を準備するよう伝える。服装も調節を促し、日陰での休憩をとらせる。肌を露出させず、日焼け止めの使用を促す。 |
| クマや野生動物との遭遇 | クマ鈴を装備させ、単独での行動をさせない。職員はクマよけスプレーを携帯しておく。 |
| ハチ、ヘビとの遭遇 | ハチやヘビとの遭遇した場合の対応を伝えておく。また道以外の山中には入らせない。コース付近のハチの巣の駆除。 |
| 天候不良 | 当日の天候や予測を確認し、著しく悪化する場合はプログラムの時間変更、もしくは中止する。 |
| その他のケガ、体調不良 | 救急バッグを携帯し、応急手当の準備をする。事前の体調調査、当日の確認を行い、バックアップ体制を整えておく。 |

| 事前点検・準備事項 |
|----------------------------------|
| コース上は安全に通行できる状態か。 |
| 地図は最新の状態のものを使用しているか。 |
| 天候の情報を確認して、適切な対応をしたか。 |
| 参加者の年齢、人数、スタッフ数、体調面などの情報は入っているか。 |
| 運営方法やタイムスケジュールは明確で共有されているか。 |
| 施設準備物は使用可能な状態か。または数は揃っているか。 |
| 参加者もしくは団体への持ち物の伝達は行ったか。 |

| 活動時のインストラクション（必須事項） |
|--|
| 地図をよく確認し、遭難に十分気をつけること。道ではないところには進まないこと。 |
| 必ずグループで行動すること。（クマとの遭遇を避け、遭難を防ぐため） |
| 塩分、水分補給を行い、こまめに休憩をとること。 |
| 衣服での体温調節を行うこと。 |
| ハチ、ヘビと遭遇した場合は、刺激せず距離をとること。 |
| 有事の際は、各ポイントにもどり指導者と行動すること。 |
| 足場を確認しながら進み、捻挫などに気をつけること。特に下りは十分に気をつけ走らないこと。 |